

# 白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046  
山口市本町1-1-25  
白石地域交流センター内  
TEL 083-941-5959  
FAX 083-941-5966

<http://www.y-shiraishi.net/>  
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!



2022年4月1日号 Vol. 105



一の坂川沿いのさくら

## 3/6目 発災実動訓練を実施しました

### 安否確認訓練(黄色いタスキ訓練)

被災後の救助活動には、状況確認や情報収集がとても重要となります。その際に「大丈夫」が黄色いタスキ(旗)で示してあれば、地区内での素早い情報収集に役立ち、より必要なところへ救助活動に向かう力となります。

今回、玄関先に黄色いタスキ(旗)を掲げて安否を知らせる訓練では、520世帯にご参加いただきました。

黄色いタスキで  
安否確認!

ご参加ありがとうございました!



### 起震車体験(保存食配付)

震度7までの縦揺れ・横揺れが体験できる起震車が来ました。構えて待っていても対応できない揺れ体験に、悲鳴があがります。平成7年に起きた、阪神・淡路大震災の揺れを体験された方は「何も出来ないこと」を強く感じられていました。

体験後には防災食が配られ、各家庭で防災食体験もしていただけたと思います。

起震車で地震疑似体験



災害はいつ、どこに、どのような形でやってくるのかわかりません。誰の身に降りかかるかわかりません。水や食料等の準備をしていたとしても、時に想像以上の力に襲われて、個人の力では太刀打ちできない状況が来るかもしれません。そんな時、地域で助け合いが出来る仕組みを作ろうと、町内会・防災士・地区消防団等が中心となって自主防災体制づくりが進んでいます。今回の訓練はその中で行なわれました。

地区防災の仕組みは簡単にはできあがりません。訓練の在り方にも考える事は色々あります。それでも「できることから」と、想像力を働かせながら取組んでいます。

誰かが何かをするだろう、してくれるだろうではなく、一人ひとりが必要なことや、何が出来るかを考え、動くこと、そして、力を合わせることで、よりよい地区防災の在り方に近づくのではと感じました。

訓練が無駄になる、そんな平和な日々が続くことこそを望みつつ、少しでも防災の意識を高める機会にさせていただけたら、と思います。

防災士の皆さん・消防団の皆さん、ありがとうございます!(誰かのために動ける人って、本当に格好良い・取材:藤本)



本部にて地区内情報確認中



ありがとうございました!

### 令和3年度自主防災士認定者紹介

白石地区に新たに3名の「防災士」が誕生しました。

中清水町内会の春永亜由美氏、東糸米町内会の小野誠一郎氏、小野喜久子氏が「防災士」資格試験に合格され、日本防災機構から「防災士」として認証されました。3名は防災アドバイザーとして、自主防災組織の運営・拡充に携われます。これで白石地区の「防災士」資格取得者は30名となりました。



春永 亜由美氏

### 新任職員ごあいさつ

この度、白石地区地域づくり協議会の事務局員として務める事になりました綿谷伊佐子です。地域づくりの一員としてお役に立てるよう精一杯努めたいと思います。よろしくお願いいたします。

綿谷 伊佐子



### 退職職員ごあいさつ

4年間、大変お世話になりました。皆様のご健勝と益々のご活躍および白石地区の発展を祈念しております。ありがとうございました。

二間 浩子





岩国吉川屋敷予定地跡周辺の様子  
(山口市黄金町)

## 第13回 岩国出張

「七卿方切迫の仰せ込まれもこれある旁々につき、御上京の趣会議、右衛門介殿相願われ、小座敷において左の面々召しだされ、会議仰せつけられ候事」

文久3年(1863)10月16日、三条実美ら七卿上京の一件について会議が開かれることになり、晋作・毛利筑前・益田右衛門介・浦鞠負・毛利登人・北条瀬兵衛・竹内正兵衛・渡邊伊兵衛・中村文衛門の9人が集められることになりました。

ついで19日、藩政府は、岩国領主・吉川経幹らを山口に呼び寄せるため、晋作に岩国出張を命じました。この日、彼は父・小忠太に手紙を書いています。そこには次のように記されていました。

「私事も今日しまい次第、明早暁出足仕るべき覚悟にござ候。先達てより岩国公へ御来山申し参り居り候ところ、岩国御領中、人心動揺にて御来山御延引に相成り、御直附差し越されたき段申し参り候。右につき、私儀差し越され候よう仰せつけられ候。中々この度は大任故、だんだん御断り申し出で候えども、言い分立ちかね候故、やむをえず命を奉じ仕り候わけにござ候。御推察願ひ奉り候」

当時、経幹の山口行きは、岩国領の人々に動揺があったため、延期となっていたようです。そこで藩政府は晋作に、経幹への説得を命じたのでした。この時彼は、大任ゆ

えに役を断ろうとしたようですが、やむをえず引き受けることにしたようです。

20日、山口を出発した晋作は、22日、岩国へ到着。経幹に謁し、藩主から預かった手紙を差し出し、山口への訪問を促しました。そして翌日、経幹の使者が晋作の旅館を訪れ、経幹から預かった手紙を届けました。そこには次のようなことが書かれていました。

「早速、まかり出で候心得にはござ候えども、もとより、痔疾差し起こり候節は、起居不都合のため体いまだ難。期時日、はばかりながら悪しからず思し召し置き下さるべく候」

経幹は、この日は痔を理由に、晋作と会うことを断ったようです。晋作は、経幹に面会したいと申し出ますが、結局、それはかないませんでした。そこで、今度は、書面でやり取りをしたいということを伝え、経幹から返事が届きました。

「速やかに山口に赴くはもとより望むところなり。但し病いまだ癒えず、快期また予知すべからず」

こうして晋作は、経幹とはこれ以上議論をしても良い結果は得られないと感じたのか、26日には再び山口へ戻ったのでした。

2/26(土)

### 白石歴史探訪の会講演会を開催しました 高杉晋作と山口市②

今年度最後となる講演会は、松前了嗣先生を講師にお迎えし、高杉晋作と山口市②について、先生に明るく楽しくお話をして頂きました。このお話にはまだ続きがあるようですよ。

今年度もたくさんの方にご参加頂き、ありがとうございました。来年度も開催しますので皆様のご参加をお待ちしております。



来年度の開催も  
お楽しみに!



### 令和4年度「白石歴史探訪の会」イベント開催予定

【講演会】 場所：白石地域交流センター講堂(13:30～15:00)

開催日	演題	講師
6月25日(土)	13代萩藩主毛利敬親とその時代	元毛利博物館長 小山 良昌氏
7月23日(土)	高杉晋作と山口市③	防長史談会山口支部長 松前 了嗣氏
8月27日(土)	『獅子舞めぐりinやまぐち ～獅子頭の700年～』	歴史民俗資料館 文化財専門員
10月22日(土)	岩国藩主吉川監物とその時代	小山 良昌氏
12月17日(土)	(仮)白石地区の神仏 巡礼編	山口市小郡文化資料館 文化財専門員
R5年1月21日(土)	御楯隊士 新原敏三の生涯 ～文豪芥川龍之介の父～	松前 了嗣氏

【史跡巡りウォーク】…… 松前了嗣氏

10月 1日(土) 鷹隊ゆかりの地を歩く(徳地)

11月26日(土) 奇兵隊ゆかりの地を訪ねる(大内)

申込：白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)

参加無料  
学生さんも  
大歓迎!